

# 日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携

※本事業はJSTの先端国際共同研究推進基金に計上。  
 ※このほか同基金に内閣官房が進めるグローバル・スタートアップ・キャンパス  
 構想関連事業に係る570億円を計上。

## 現状・課題

- **我が国とASEANは友好協力50周年**を迎え、次の50年に向け、真の友人として「心と心の触れあう」相互信頼関係をさらに強化する、またとない機会。
- 近年、**ASEAN諸国の成長は目覚ましく**、また、**地政学的な重要度も上昇**。**日ASEAN間の関係強化**がより一層重要に。
- これまで、科学技術分野では、**長年にわたり共同研究や人材交流を中心に積み上げてきた実績**が存在。これらを礎にしつつ、重層的な協力関係をさらに強化し、**新たなイノベーションを共創していく関係へと発展**させる。

## 事業内容

- ASEAN諸国とは、これまで**長年にわたり国際共同研究や研究人材交流**を行ってきたところ。
- **これまでの取組を基盤**としつつ、国際共同研究、人材交流・育成など、幅広い取り組みを通じ、**持続可能な研究協力関係をさらに強化**。

## 【事業スキーム】

- ◆ ASEAN諸国の科学技術力等を踏まえつつ、相手国ニーズに応じた柔軟かつ重層的な取り組みを基金により支援。
- ◆ 具体的には、以下の取り組みを想定。
  - ✓ **国際共同研究**：共通重点課題での共同研究、共通社会課題の解決や研究成果の社会実装に向けた取り組み
  - ✓ **人材交流・育成**：高校生を含む若手人材の交流・育成
  - ✓ **拠点**：既存拠点の体制・機能強化を含めた科学技術分野での協力の拠点を形成

## 【基本スキーム例】



※具体的取組内容については、相手国ニーズや社会情勢を踏まえ個別に検討

事業実施期間	5年程度
事業規模	数千万～1億円/年・課題程度
支援スキーム	文科省 → 補助金 → 基金 → 委託 → 大学 国立研究開発法人等 (基金: 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST))

## 成果・インパクト

ASEAN諸国の多様性を最大限活かしてそれぞれの国の強みを発揮しつつ、日ASEAN 双方の強みをあわせ、双方の課題に取り組み、双方の期待に応え、**共創するパートナーとして共に成長**。

(担当：科学技術・学術政策局参事官 (国際戦略担当) 付)